



2016 希望郷 いわて国体
第71回国民体育大会 広げよう 感動。伝えよう 感謝。

2016 希望郷 いわて大会
第18回国民体育大会いわて大会 広げよう 感動。伝えよう 感謝。

やはば

議会だより



町民と町議会との懇談会
やはばで暮らすこと みんなで話しましょ 2

予算決算常任委員会
平成27年度決算認定 4

一般質問 町政を問う
西部地域をリゾート地として開発 一般質問9議員 16

198

2016.10.14
岩手県
矢巾町議会

希望郷いわて国体
(関連記事…P28)

みんなでお話ししよう

7月20日から22日の3日間、太田農事交流センター、間野々公民館、下北公民館の町内3カ所で懇談会が行われました。初めて来場してくださった方も多く、各会場とも終了時間近くまで活発な意見が交わされました。

女性活躍社会は

質問 女性活躍社会について議会はどのように考えているか。

回答 女性活躍の社会構築には社会全体の支援体制が必要である。矢巾町の出生率は県内最下位で、出産後も働くことのできる環境が必要であり、保育園の充実や仕事ができる環境整備に努めていきたい。

道の駅構想は

質問 町長がスマートIC付近に道の駅設置構想案を話された。

回答 国道4号線沿いの方が良いと思うがどう考えているか。

回答 3月会議の際、町長はひとつの案としてスマートICを視野に話をした。道の駅構想については商工会との話し合い、6次産業化と産直施設併設などウエルネスタウン構想の中でも協議していく。



間野々公民館で行われた懇談会

若者の定住化策は

質問 太田地区で若い人が結婚しても盛岡等へ出て行くが、定住化策を考えるべきでは。

回答 矢次地区も同様であり、

子どもが少なく、新興住宅地で維持しているのが現状である。しかし、環境が良いという若者も増えてきているので、何が必要か考えたい。

政務活動費の用途は

質問 政務活動費を減額したと言ったが、残金や使途内容について問う。

回答 使途には細かく内容を定めていて、例えば図書購入でも個人所有はできない、飲食費には利用できない、視察研修時は2カ月以内に報告会を実施し内容を共有する仕組みとしている。政務活動費は報酬とは別であり、残金は町に返納している。

まちづくり構想は

質問 矢巾に来て50年居住し、コミュニケーションを大事に子育てを行ってきたが、少子高齢化になって残念である。また土地利用の提案を行ってきたが、20年経っても何も変わらない。この状況を議会はどのように考えるか。

回答 町全体として「まちづくり」をどうするか考える時期である。10月頃には将来構想をまとめる予定である。

町民と町議会との懇談会

やはばで暮らすこと

土地利用に問題あり

質問 間野々は10年ほど前と比較して、500人以上居住者が減っている。このことは他の地域でも同様と思う。

土地があっても子どももの家も建てられない土地利用問題が起因していると思うが、どう考えているか。

回答 農振法や都市計画法上の規制がある。発展している矢巾町で、子どもに夢が持てる施策を提案していきたい。

簡素すぎる議会広報

質問 議会だよりの内容が簡潔すぎるがどう考えているか。

回答 多くの方に読んで頂きたい、小学校高学年でも理解できるように意識して編集している。

住みやすいまちづくり

質問 住みやすいまちづくりを議会ですべて考えているか。

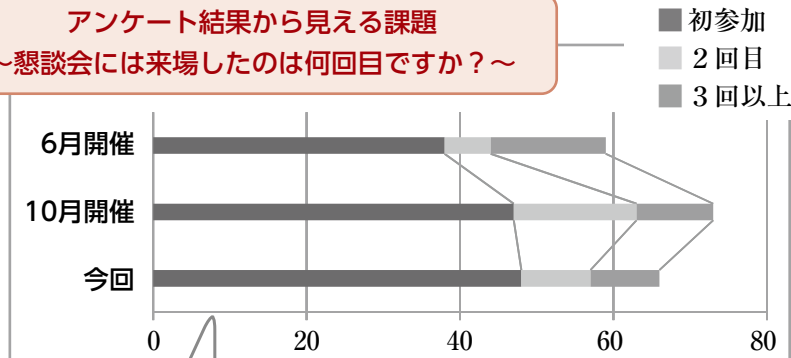
回答 緑多いまち、子育て支援が充実したまちが良い。産休取得、所得など子供が増える環境整備が必要と思う。

雇用促進住宅の利用を

質問 雇用促進住宅を若い人向けに貸し出したらと思うがどうか。

回答 公社からの譲渡打診の際、町は老朽化のため断った経緯がある。提言として承る。

アンケート結果から見える課題
～懇談会には来場したのは何回目ですか？～



アンケートで出された主な感想

- 大きな市に住んでいた時には分らなかつた行政と住民との近さを感じる事ができました。(初参加)
- 農村に対するイメージの悪さがなくなれば、若い人も来てくれるのではないかと思います。(初参加)
- ペールに包まれて、本音が見えない。議員さんの方から私達に伝えてほしいかった。ほかの議員さんのお話をもっとお聞きしたかった。私達の聞きたいことを待っていないで、積極的に議員さんの話を聞きたかった。(初参加)
- 参加人数がもう少し多かつたらなと思います。(2回目)
- 何でも言うことでは、何も出てこない。事前に質問・意見など決めた会であつてほしい。(初参加)
- 岩手では人口増加の矢巾町であるが、10年後には減少に向かつて行くのでは。転ばぬ先の杖も必要では。(2回目)
- 道の駅のニーズに議員の言い訳が多い。それだけ町民に公開されない、知らされていないから問題だと思えます。(3回以上)
- このような会合は、積極的にどんどんやってほしい。(3回以上)

来場者は初めての方が多く来ていただいています。半面、2回目以上のリピーターは少なめ。一度来て十分満足して頂けたのか、はたまこんなものかと思切りをつけられたか。

次回開催は
11月19日(土)
午後2時から
やはばーく1階

「やはば」の発信を

定例会9月会議は9月2日から21日まで開催され、平成27年度の決算を中心に補正予算、人事案件等を審議しました。決算および補正予算は、予算決算常任委員会で審査され、本会議で可決・認定されました。

予算決算常任委員会



現在の矢幅駅前



同じ地点から撮影した開発前の矢幅駅前

歳入

町の主要事業を行う一般会計の歳入は、前年度比6%増で約11億3873万円となりました。

自主財源である町税は、約1億3333万円の収入減となる一方、依存財源である地

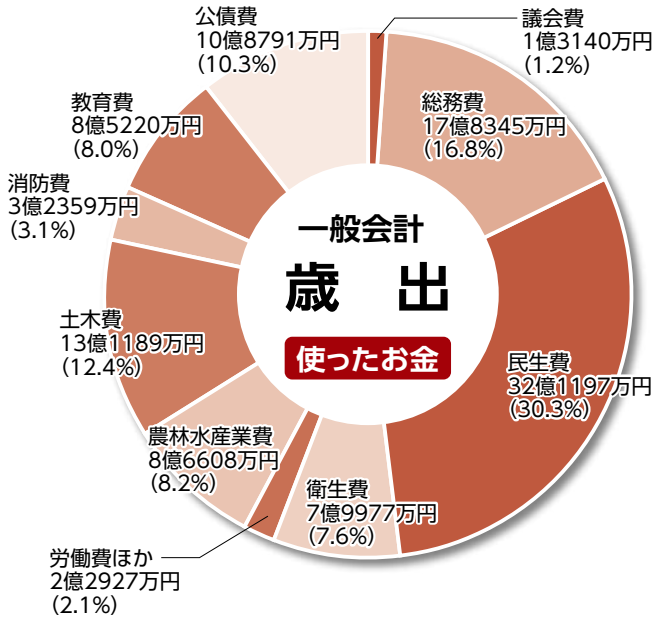
方消費税交付金は、消費税の引き上げにより約1億9564万円の増となりました。

国・県からの交付金も併せて約1億8889万円の増額になり、増額の要因は依存財源が大きく占めています。

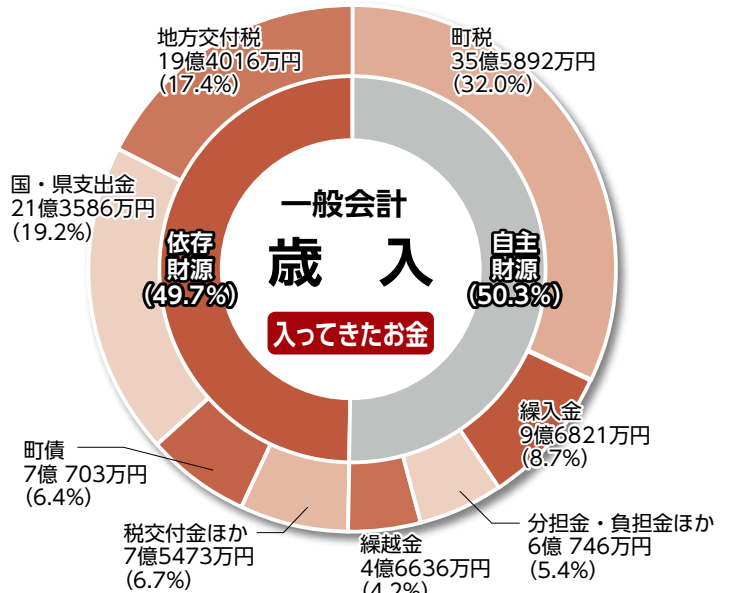
平成27年度決算認定

勢いのある街

予算決算常任委員会



105億9753万円



111億3873万円

総務費 庁舎、財産等の維持管理のための経費
民生費 一定水準の安定した社会生活に必要な経費
公債費 借入金の返済に要する経費

用語解説

繰入金 基金等の取り崩し
分担金・負担金 保育料など、特定のサービスを受益する者から徴収するもの

歳出

歳出は前年度比5・6%増で約105億9753万円となりました。前年度に比較して増額したのは機構改革に伴う庁舎の改修等を行った総務費が約4億9757万円の増、農事組合法人への補助を新規に行った農林水産業費が

約1億9005万円の増となりました。一方、8・9大水害からの復旧事業の完了により、災害復旧費は前年度から61%、約3億2052万円の減額となりました。特別会計・企業会計については次ページのとおりです。

監査意見

若者が行き交う魅力ある町に

吉田 功 委員
 長谷川 和男 委員

平成27年度の決算状況について、一般会計と4特別会計は、すべての会計において黒字決算となっており、実質収支額は、合わせて5億8123万円余を計上している。今後も引き続き効率的な財政運営が行われ、順調に推移していくことを望む。

上下水道事業は、戦略的に経営の改善に努められている。災害に強い施設の整備や老朽化に伴う設備の更新に、多大な経費を要することが見込まれる。中長期的な視点で計画的かつ効果的な経営に努められたい。

本年度は第7次矢巾町総合計画の初年度であり、矢巾スマートICの整備などが進められ、町民の期待と関心も大きい。費用対効果を十分に見極め、財政の健全性も意識しながら、若者が行き交う魅力あるまちづくりを推進されるよう、なお一層の努力を期待する。

平成27年度決算 特別会計…完了近づく駅前整備事業

国民健康保険事業特別会計

歳入 31億 395万円 前年度比
10.5%増

歳出 29億8290万円 前年度比
12.3%増

国保加入者への医療費
や出産育児一時金給付
等に使われました。

被保険者(5444人)
1人当たり
54万7925円

介護保険事業特別会計

歳入 19億3340万円 前年度比
5.5%増

歳出 18億8164万円 前年度比
5.6%増

65歳以上の方等への介護
サービス給付費や介護予
防事業に使われました。

被保険者(6315人)
1人当たり
29万7963円

後期高齢者医療特別会計

歳入 1億7150万円 前年度比
0.9%減

歳出 1億6982万円 前年度比
0.6%減

75歳以上の方等の入院
時の食事代や高額療養
費等に使われました。

被保険者(2975人)
1人当たり
5万7082円

矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計

歳入 17億9370万円 前年度比
13.5%減

歳出 17億8975万円 前年度比
9.6%減

矢幅駅西地区、駅前地
区の整備事業に使われ
ました。

町民(2万7128人)
1人当たり
6万5974円

※ 1人あたりの金額は、27年度末現在の人数から算出しました。



長寿の方も安心して暮らせるまちづくりを(敬老会)

企業会計…管と施設の更新が必要

水道事業会計

収益的収入および支出 収入 **6億9853万円**
 支出 **4億9339万円**

資本的収入および支出 収入 **5554万円**
 支出 **5億9786万円**

下水道事業会計

【公共下水道】
 収益的収入および支出 収入 **7億9708万円**
 支出 **5億8477万円**

資本的収入および支出 収入 **6億9730万円**
 支出 **9億7698万円**

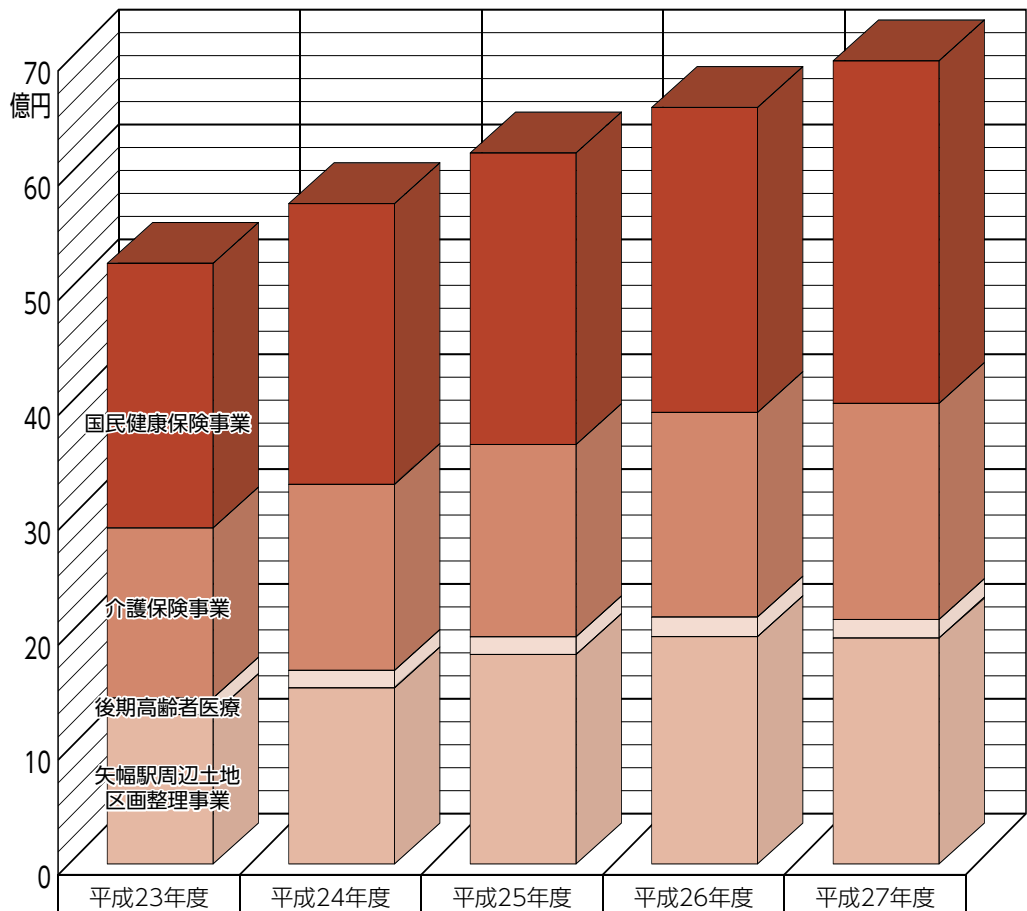
【農業集落排水】
 収益的収入および支出 収入 **4億3818万円**
 支出 **3億5649万円**

資本的収入および支出 収入 **4020万円**
 支出 **2億3358万円**

水道管も年をとるんだじゃー!!



特別会計決算額(歳出)の推移



■ 国民健康保険事業	23億 328万円	24億 4482万円	25億 3896万円	26億 5533万円	29億 8290万円
■ 介護保険事業	14億 8125万円	16億 1921万円	16億 7377万円	17億 8108万円	18億 8164万円
■ 後期高齢者医療	1億 4383万円	1億 5222万円	1億 5431万円	1億 7089万円	1億 6982万円
■ 矢幅駅周辺土地区画整理事業	13億 89万円	15億 3354万円	18億 2395万円	19億 7949万円	17億 8975万円

町の家計簿 しっかりチェック

決算審査は、議長を除く17名の委員で構成された予算決算常任委員会（山崎道夫委員長、藤原梅昭副委員長）にて審議しました。

財政

農業所得は

質問 農業所得が減っているが、その理由は。

回答 農機具購入の経費控除などが増えたためである。28年度の農業所得は増える見込みである。

コンビニ納税は

質問 納税方法として、コンビニ払いにした場合の手数料はいくらか。

回答 1件につき55円〜70円かかる。

マイナンバー費用は

質問 マイナンバー制でかかった費用の国・町の負担分は。

回答 平成27年度は、国から約6200万円、町は約3400万円となっている。



防災安全室に設置されている河川監視モニター

総務・防災

消防署への昇格は

質問 消防署への昇格の検討はどうかしているか。

回答 人口増加の状況を見て検討する。医大附属病院への対応も含めて考え、31年を目標としている。

監視カメラの効果は

質問 河川の監視カメラの状況は。

回答 モニターは防災安全室に設置されており、状況を瞬時に把握できる。また、河川に取り付けてあるカメラは360度回転するなど効果を発揮している。

消防ポンプ車の更新は

質問 消防ポンプ車の更新状況は。

回答 27年度まで毎年更新していたが、28年度は行わず、34年度までで更新計画が完了する。

水害対策は

質問 土嚢を建設業者の協力で配備しては。

回答 各家庭に配備するようにはなっておらず、土嚢の配布には連絡をもらってから運ぶようにしている。

町自らの計画立案を

質問 地方総合戦略等の立案は、ほとんどがコンサルタント会社が行っているが、町自らが立案する姿勢も必要なのでは。

回答 厳しいスケジュールだったため、自前でできなかった。今後は積極的に関わって進めたい。

多年化契約の見直しを

質問 委託や随意契約で多年化しているものがあるが、見直すべきではないのか。

回答 入札以外のものは、適正かどうか精査している。

旧矢中跡地意見聴取は

質問 旧矢中跡地利用の検討アンケートを行うようだが、その方法や意見の聴取はどうするのか。

回答 10月にアンケートを取

る予定であり、街頭などで若い人の意見も聴取し、精度を高めたい。

産業・建設

熊出没対策は

質問 熊が多く出没するが対策は。

回答 今年は今まで79回出没している。被害や発見時は早め連絡をお願いしたい。わな場所などが適切かなども含め対応する。

協働の道づくり

質問 協働の道づくり事業とは。行政区の負担は。

回答 舗装等の工事に関して、町が機械、部材を提供して、人員は行政区負担で行う事業である。

また、行政区の負担は、人員と保険料などである。

河川中洲の除去は

質問 河川中洲除去の対応状況は。

回答 27年度は、逆堰、新川を行った。

除去対象の場所は、多くあると認識しているので順次除去していきたい。

道路補修の優先順位は

質問 道路の日常の見回りはどのように行い、補修の優先順位は。

回答 委託と役場の職員とで行っており、危険度によって優先順位をつけている。

松くい虫被害の状況は

質問 松くい虫による伐採状況は。

況と対応は。

回答 伐採は年々減っており、27年度は14カ所で94本伐採した。

ウエストヒルズは

質問 ウエストヒルズ広宮沢の販売状況は。

回答 大きな区画は商談中で、企業用の区画は残っていない。宅地については、1区画のみ残っている。

交付金の有効活用は

質問 農業施策である多面的機能支払交付金は、未使用額が多くならないよう各組織に指導しては。

回答 未使用額が多くなると、次回からの交付額の減額などが心配されるため、有効活用を指導していく。



町パトロールカーによる道路点検



ウエストヒルズ広宮沢に進出した岩手日報社

検証したことを次年度に反映

産業・建設

キャンプ場の水洗化を

質問 町営キャンプ場のトイレの水洗化は。

回答 今後、水洗化を図り誘客に努めたい。

通学路の安全対策は

質問 通学路の安全対策として、グリーンベルトを設置しては。

回答 今まで考えていなかったが、検討していきたい。

町営住宅の空き室は

質問 町営住宅の空き室の状況と今後の考えは。

回答 現在満室であり、平成22年に策定した長寿命化計画に沿って修繕を行っている。

福祉・環境

不法投棄対策は

質問 大型ごみ等の不法投棄はどのように対処しているか。

回答 盛岡広域振興局や紫波警察署との連携を取るほか、県からの貸付で監視カメラを設置する予定である。

避難所窓口の一本化を

質問 台風10号の際、町外から町内老健施設への移送に問題があったのでは。窓口を町に一本化してはどうか。

回答 県が直接施設に連絡して移送を行ったため、町では把握できなかった。今後検討をする必要がある。

お口の健康は

質問 口腔ケアが大事であるが、介護予防としての取り組みは。



紫波町に設置されているグリーンベルト

回答 口腔ケアは歯科衛生士協会に委託し、介護予防も含めてその中で行われている。各行政区にも呼びかけて取り組んでいく。

敬老会のあり方は

質問 敬老会にお土産がなく不満との声がある。

対象者の約16%しか参加し

教育・文化

教室間仕切りなぜ設置

質問 矢巾東小の教室の間仕切り工事の理由は。

回答 児童の授業に対する集中を高めるために必要であるとの教師からの提案もあり、仕切ることにした。

徳丹城調査状況は

質問 徳丹城の調査記録まとめの進捗状況は。

ない現状もあり、町全体での開催はやめて地域でそれぞれ実施した方が良いのでは。

回答 今年は米寿の方に記念品を差し上げるが、個々の記念品は考えていない。

おもてなしとアトラクションに力を入れる。各コミュニケーションで行うなど様々な意見があり、今後検討していく。

回答 4年計画で年間25%の予定で進めていたが、20%に留まっている。

給付型奨学金の実施は

質問 奨学金が給付型になった場合、基金が目減りするのでは。

回答 給付型奨学金は国の意向であるが、よく考えていかなければならない。

図書購入の計画は

質問 図書購入の今後の予定

と選定方法は。

回答 図書センター書架は9万冊収容できるが、徐々に年次計画で増やしていく。

選定方法は基準に沿って、利用者の声も聞きながら選ぶ。

大会参加費補助は

質問 小中学生の大会参加補助の基準は。

回答 スポ少活動などは対象外であるが、部活動の県大会出場以上の交通費、宿泊費の一部を補助している。

特別会計

社会資源の掘り起こし

質問 介護予防は重要であり、そのための制度や人材など、福祉の社会資源の掘り起こしもより重要になってくる。その対策は。

回答 社会資源も重要であると認識しており、ほかに認知症対策・在宅医療介護の連携事業を進めている。

矢幅駅空きスペースは

質問 矢幅駅にあった旧区画整理課事務所の利用法は。

回答 いろいろな提案はあるが、まだ決まっていない。今後精査しながら決めたい。

人間ドックの補助を

質問 75歳以上の方や重度障がい者の65歳以上の方に人間ドックの補助をすべきではないか。

回答 国保加入者でも人間ドックは対象外である。重度障がい者は医療機関に定期診断を受けている方が多



中学生の活発なクラブ活動

く人間ドックの助成は考えていない。

企業会計

下水道工事計画は

質問 下水道工事の今後の計画は。

回答 30年までに完了予定であり、28年は6022戸、29年は1370戸、30年は残区間の施工を予定している。

漏水対応は

質問 家庭内の漏水はどのように対応しているか。

回答 検針の際に異常水量があった場合は、職員が対応しており、資材や修理業者などの指定の要件を満たしていれば、料金の減免措置の条項がある。

審査報告

予算決算常任委員会委員長 山崎 道夫

矢巾町を全国に発信

以下の項目について附帯決議を付して認定した。

- 歳入
 - 国からの各種財源確保を
 - 町税滞納者の納税相談と意識改善で早期回収を
 - ふるさと納税の新たな発想による推進策の構築を
- 歳出
 - 情報システムの更新はセキュリティ確保とコスト低減を考慮
 - 地方創生事業はしっかりと将来像を
 - 人材育成と人員確保
 - ICT利用促進
 - 第6次総合計画を事業評価し反映
 - 防災に万全を期されたい
 - 農業の振興と多面的機能支払交付金の有効活用
 - おでん・塩彩プロジェクトの先細りしない事業継続
- 全国にPRできるパンフレットの作成を
- 通学路、生活道路の整備
- 介護保険事業の充実
- 敬老会開催内容の検討
- 奨学金制度の周知と研究
- 矢幅駅周辺土地区画整理事業の未整備箇所の完成



議長に審査報告書を提出する正・副委員長

討論

表決に付される前に、決算認定に対して5名の議員が賛成と反対の意見を表明しました。

健全な財政運営

税収の収納率は、多くの項目において99%を超えていることから顕著な実績と認められる。

その結果、「自主財源も約50%と他町村に見られない実績である。決算は、一般会計その他特別会計も全て黒字となり健全な財政運営と認められることから賛成である。」

廣田 清実

暮らしやすさが充実

「やさしさはばたく認知症支援ネットワーク」のわんわんパトロール隊の活動を評価。「認知症の私と輝く」大賞を受賞する等、町民目線での活動や、子ども医療費助成の拡大など暮らしに直結する施策が多い。4河川に監視カメラ設置など防災体制の強化を評価し賛成する。」

村松 信一

6次総評価・検証を

町民に開かれた行政運営が望まれる中で、情報公開が進んでいない。また、機構改革の効果が表れておらず、説明も不十分であった。

将来負担比率の改善が見られず、身の丈に合う事業を行ってこなかった。6次総の評価・検証をしっかりと行っていないことから、反対する。

昆 秀一

情報公開に問題あり

平成27年度は107億円の借金による駅前開発事業の最終年である。このため老朽化した町営住宅や生活道路の改修など福祉に予算が回らない状況となっている。

上下水道の値上げ案が示されたが、決算状況は良好であり、町民や議会への情報公開には問題があり反対である。

小川 文字

ごみ削減と循環を

人口増加を目指した、子ども・子育て支援の充実が図れていない。介護保険制度も収入が少ない高齢者が利用できないケースが起きている。

県央ブロックごみ処理広域化計画は焼却処理を前提としており、ごみの削減と循環の仕組みづくりの施策に反し、経費がかさみ反対である。

川村 よし子

在宅医療モデル事業を 紫波町と共同で実施

補正予算

補正予算は、一般会計、4特別会計、2企業会計で上程され、予算決算常任委員会で審議されました。

一般会計は4億6056万円を追加し、総額は99億4901万円となりました。

主な歳入

▼広域型在宅医療連携
拠点運営支援事業補助金 440万円

主な歳出

▼福祉ニーズ調査委託料 150万円
▼予防接種事業 422万円
▼在宅医療・介護連携事業 502万円
▼道路安全施設整備事業 550万円



歩道がなく混雑する南矢幅踏切

踏切の拡幅予定は

質問 上杉踏切の拡幅準備の予算がとられている。

南矢幅踏切についても交通量が多く、歩行者は歩道のない場所を行き来している状態

であるが、上杉踏切以外の拡幅予定は。

回答 南矢幅、白沢と計3カ所の拡幅を要する踏切がある。平成32年度以降、順次拡幅を行えるようJ&Rと協議を行っていく。

B型肝炎の予防は

質問 B型肝炎予防接種事業の内容は。

回答 定期予防接種法の改正により、1歳未満の乳児に対して接種するものである。

視聴覚機器の更新を

質問 庁舎内の視聴覚機器の状態が悪いが、今回の補正は行わないのか。町民説明会等で文字が見づらかったりと、機材の不具合があるのになぜ更新の申請を行わないのか。

回答 今回の補正では視聴覚機器の購入は行わない。公民館の機材については昨年度に新しいものを購入済みである。プロジェクトについては担当課で購入の手続きを進める。

広域在宅医療の連携は

質問 広域型在宅医療連携拠点運営支援事業補助金について、支出と収入の差60万円は町の持ち出しということか。

回答 紫波町との共同事業であり、不足分についてはそれぞれ応分に負担する。2カ年

計画のモデル事業であり、それ以降の継続については未定ではあるが、これからの矢中町にとって非常に重要な事業であると認識している。

福祉課題の調査

質問 福祉ニーズ調査委託料の内容は。また、調査内容をどう反映させるのか。

回答 矢中町の福祉の課題を調査するため、多機関が連携して総合的に調整するための調査である。調査は12月まで行う予定である。

新配水場の供給見込は

質問 新配水場の建設は、岩手大附属病院と県療育センターへ、災害時に水を供給する役割も負うと考えられるが、どの程度の供給を見込んでいるか。

回答 附属病院が自前で給水施設を建設する案もあり、新配水場は病院のためだけの施設ではない。推計値で計算すると、家庭用では7日間給水できる計算となっている。

議会で決めたこと

教育委員会制度 新しくなります

人事案件

教育長の任命



越 秀敏さん
(広宮沢1区) 新



和田 修さん
(広宮沢2区) 新

教育委員の任命



掛川はるなさん
(矢巾2区) 新

地方教育行政制度の改革により、今までの教育委員長と教育長の仕事が一体化し、新「教育長」が設置されます。矢巾町では平成27年3月会議において、すでに関係条例を議決しており、新制度への移行を行います。新制度では、町長と教育委員会が予算などの協議を行う総合教育会議の設置、教育行政の根本的な方針を定める教育大綱の作成などが大きな柱となっており、すでに進められています。新制度への移行により、教育委員会の透明性の強化、教育現場でのさまざまな課題により迅速な対応がいつそう期待されます。

発議案

議会政務活動費の減額

政務活動費を、一人当たり月2万円から1万6000円に減額します。

また、使途や政務活動の報告を2カ月以内にするなどの改正を行いました。

なお、減額は委員会研修費用の一部に充てられ、常任委員会活動を活発にするための費用として計上されました。

議会の議決すべき

案件の追加

議会の議決すべき地方公共団体に関する案件を新たに追加します。

現在は、総合計画の基本構想及び基本計画の策定、変更または廃止することを議決事項としており、新たに農業ビジョン、都市計画マスタープランの策定、変更または廃止することを議決事項とします。町民の視点に立った透明性の高い行政の推進を目指します。

みなさんからの請願

9月会議

▽私学教育を充実・発展させるための請願

請願者・要望者

私学助成をすすめる岩手の会

会長 新妻 二男

紹介議員

昆 秀一

全員賛成

採択

審査意見

私立高校は授業料に加えて高額な施設設備費、教育維持費等があり、保護者は公立高校に通う生徒の世帯より経済的負担を強いられている。少子化による定員割れなど学校経営を取り巻く状況は、厳しさが増しているが、学校がなくなることは、その地域全体の過疎化や振興という点から見ても、憂慮すべき事態であり、本請願の主旨は理解できるものである。

固定資産評価委員の選任



松舘 征雄さん
(藤沢) 再



佐々木 隆さん
(南煙山) 新

人権擁護委員の推薦



新「教育長」(常勤)

- 教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表(会議の主宰者、具体的な事務執行の責任者、事務局の指揮監督者)
- 任期3年

各議案の採決状況

平成28年定例会 7月会議

議案番号	提出議案	議員名														採決結果					
		赤丸 秀雄	水本 淳一	廣田 清実	高橋 安子	齊藤 正範	村松 信一	昆 秀一	藤原 梅昭	川村 農夫	山崎 道夫	高橋 七郎	長谷川和男	川村よし子	小川 文子		藤原 由巳	藤原 義一	米倉 清志	廣田 光男	
発議案 9号	政務活動費の交付に関する条例の一部改正（金額の変更）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
発議案10号	政務活動費の交付に関する規則の一部改正（様式の変更）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
発議案11号	政務活動費の運用に関する規程の一部改正（文言整理と使途基準の変更）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可

平成28年定例会 9月会議

議案番号	提出議案	議員名														採決結果					
		赤丸 秀雄	水本 淳一	廣田 清実	高橋 安子	齊藤 正範	村松 信一	昆 秀一	藤原 梅昭	川村 農夫	山崎 道夫	高橋 七郎	長谷川和男	川村よし子	小川 文子		藤原 由巳	藤原 義一	米倉 清志	廣田 光男	
諮問 3号	人権擁護委員の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-	可
議案50号	教育委員会の教育長の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-	可
議案51号	教育委員会の委員の任命	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-	可
議案52号	教育委員会の委員の任命	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-	可
議案53号	固定資産評価審査委員会の委員の選任	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-	可
議案54号	一般会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-	可
議案55号	国民健康保険事業特別会計補正予算（第2号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-	可
議案56号	介護保険事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-	可
議案57号	後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-	可
議案58号	矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-	可
議案59号	水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-	可
議案60号	下水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	-	可
議案61号	平成27年度一般会計歳入歳出決算認定	○	欠	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
議案62号	平成27年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
議案63号	平成27年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
議案64号	平成27年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
議案65号	平成27年度矢幅駅周辺土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
議案66号	平成27年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
議案67号	平成27年度水道事業会計決算認定	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
議案68号	平成27年度下水道事業会計未処分利益剰余金の処分	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
議案69号	平成27年度下水道事業会計決算認定	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
発議案12号	議会の議決すべき事件を定める条例の一部改正（農業ビジョン、都市計画マスタープランの策定や変更、廃止を議決事項に追加）	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
発議案13号	私学教育を充実・発展させるための意見書の提出	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可
発議案14号	矢幅駅前地区土地区画整理事業調査特別委員会の廃止	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	可

○=原案に賛成 ●=原案に反対 欠=欠席 可=可決

注：廣田光男議長は採決に加わらない。

議会で決めたこと



国体に向けての花いっぱい運動（旧農免道）

一般質問

一般質問とは、議員が執行機関に対して、町政全般にわたる執行状況や将来に対する方針など、諸問題について質問を行い政治姿勢を明らかにするものです。

9月会議では9人の議員による一般質問が行われ、活発な議論が展開されました。

●村松信一議員……………P17

- ①西部地帯をリゾート地として開発を
- ②公共施設等の長寿命化計画

●赤丸秀雄議員……………P19

- ①小中学校教育環境の課題
- ②農事有線放送廃止に伴う代替施策

●米倉清志議員……………P21

- ①不動地区の町有地活用
- ②不動小学校の整備
- ③期日前投票の宣誓書の改善は

●山崎道夫議員……………P23

- ①定住人口増を目指した有効で適正な土地利用の推進策
- ②空き家対策

●藤原梅昭議員……………P25

- ①快適性と安全性を高めるまちづくり
- ②健やかな生活を守るまちづくり
- ③産業の活力を高めるまちづくり

●昆秀一議員……………P18

- ①ICTによる広聴・広報活動の充実
- ②学校図書館の活性化

●高橋安子議員……………P20

- ①引きこもり支援事業の取り組み
- ②フードバンクの取り組み
- ③剪定枝チップ機の貸し出し

●川村よし子議員……………P22

- ①住民が安心できる介護支援
- ②ゴミ処理広域化計画
- ③就学援助制度充実

●小川文子議員……………P24

- ①上下水道の値上げ案
- ②旧矢巾中学校跡地利用
- ③肝炎対策

※次ページからの各議員の質問と答弁は、紙面の都合上、内容を要約して掲載しています。詳しい内容は、議会事務局にお問い合わせください。

西部地域のリゾート開発を 自然豊かな観光地としたい



むらまつ のぶかつ
村松 信一 議員
(矢巾明進会)



自然豊かな大白沢地区

質問 風光明媚でのんびりラックスでき、多彩な余暇活動を楽しめる場所として、西部地帯をリゾート地として開発する計画はないか。

町長 西部地域には自然をいかした観光スポットや、秋津神社の湧水等の資源や観光名所等も多く遊休農地等を活用し、花木等も楽しめる景勝地を創設するように検討する。

質問 大白沢地域の農道の坂700級を使用し、「手づくりそり大会」や清流を活用しウナギ・ナマズの養殖、イワナ・ヤマメ等の釣り堀などさまざまなレジャーライフの提供を考えてはどうか。

町長 提案の内容も含め、現在の観光資源と非日常的施設の充実を、総合的な開発に向けて検討をしたい。

質問 西部地域の活性化のため「企業版ふるさと納税」に公募してはどうか。

町長 計画中のウェルネスタウン構想全体の中で西部地域の観光化を考えていく。

公募要件を満たすには課題もあり難しい。

質問 大白沢地域を中心とした観光開発をしてはどうか。

町長 大白沢地域を含め、西部地帯は既存の施設の強化や自然環境を主とした観光地化について、西部地区活性化委員会でも検討したい。

施設長寿命化 の対策は

基礎台帳を 作成し対応する

質問 公共施設等が更新時期を迎え多額の費用を要するが、今後の長寿命化対策は。

町長 管理計画を策定し長年にわたる更新・統廃合・長寿命化などの計画のため基礎となる公会計システムへ移行中である。

質問 修繕が必要な44橋梁に対する費用の見積もりはどれ程か。

町長 総額約52億円を要する。

利用者目線のホームページを 利用しやすく、さらに見直す



こん 昆 議員
しゅういち 秀一 議員
(一心会)

質問 町ホームページがリニューアルされたが、他の自治体ホームページとあまり変わり映えがしない。

町長 今後、さらに見直しをかけて利用しやすいホームページにしていく。

質問 広聴活動についてはどのように行っているのか。

町長 広報やはばやホームページにて呼びかけ、情報収集を行っている。
町ホームページでの広報・広聴活動を重視しており、今後は広報戦略の検討を行う予定にしている。



利用者目線での改善が求められる町ホームページ

質問 子どものネット活用などの教育は、今後どのように行っていくのか。

教育委員長 児童・生徒に対してはネットに関しての教室を開くなどしている。
また、保護者にもプリントを配るなど周知を図っている。

学校司書の配置を

質問 近年、読書離れが進んでいる。読書は情操教育など

司書教諭と
事務補助員を配置

に大変重要であり、そのため学校図書館を活性化すべきであることから、以下問う。
各学校図書館の人的整備状況は。
教育委員長 図書事務補助員を3名配置して、図書の整理や紹介などを行っている。
質問 学校司書の配置も必要なのではないか。
教育委員長 司書教諭を置き、さらに図書事務補助員を配置して、図書の整備や紹介にあたっている。

質問 学校図書館の役割の一つである学習・情報センターの活動は。
教育委員長 学習・情報センターとしての機能が必要なコンピュータなどの配置については、これからの検討課題としている。

質問 各学校や図書センターとの連携は。
教育委員長 ネットワーク化は難しいが、各学校のデータベース化は今後検討したい。

ネットワーク化は難しいが、各学校のデータベース化は今後検討したい。

一般質問 町政を問う

児童生徒の安全安心は 自治会などと連携する



あかまる ひでお 議員
赤丸 秀雄
(一心会)

質問 小中学生の通学は、交通指導員やスクールガード協力のもと安全な現況である。人員不足であると聞くが、行政主管で確保を行うべきでは。

町長 交通指導員は3名不足の状態である。交通指導員及びスクールガードの選出は、各地区交通安全協会や自治会などに依頼し対応してきた。今後も連絡を密にし、対応を図る。

質問 小中学校及び公共施設のトイレ洋式化の改善計画について問う。

町長 町の全施設対象に洋式便器導入の計画を立てたが、財政事情もある。優先順位を付け、毎年改修する。

質問 現在のいじめ調査結果の内容と、対応状況について問う。

教育委員長 いじめ件数は昨年7月から今年3月までは96件で全て対応済である。

災害時の

情報伝達は

有効な手段を検討

質問 農事有線放送が平成30年2月に廃止予定と聞く。また町では新たな災害情報網の構築を行う方針であるようだが、その代替施策にインターネットラジオの導入を行うことを検討してはどうか。

町長 全国的に広がりがつつあるが、運用に課題もある。現在の有線放送の代替として、コミュニティFMやインターネットラジオも一つの情報伝達手段であるが、必要な手続きや様々な権利の問題も含め導入に関して、今後検討していく。

質問 住民へのタイムリーな



有効利用が望まれるわたまるメール

情報提供には、コスト等を考慮して無線伝達が有効であると考ええる。

災害防止手段の一つとして緊急情報「わたまるメール」の登録強化が必要では。

町長 「わたまるメール」の登録強化については、現在活

用方法として災害情報に限らず、町からのお知らせやイベントの開催等もメール配信している。

災害情報伝達の重要かつ有効な手段であり、今後も行政區長会議や広報等で積極的に登録活動を推進する。

引きこもり対策は 新たな事業で取り組む



たかはし やすこ
高橋 安子 議員
(町民の会)



静岡県三島市役所で食品を回収中のフードボックス

一般質問 町政を問う

質問 引きこもりの増加が社会問題となっている。

本町では、人数を把握し支援しているか。

また今後この問題に取り組む予定はあるか。

町長 過去5年間で、20件の相談があったが、様々な要因

が背景にあり、実態を把握できない状況である。

今後は新たに「包括的支援体制構築事業」で取り組む。

質問 家庭内暴力や経済的虐待に発展する例もあることから、実態を把握し、改善に向けた対応が必要と思うが。

町長 担当課に職員を配置し、関係機関とも連携しながら対応する。

フードボックスの設置は

期限を決めて

設置したい

質問 子どもの貧困が問題視される昨今、長期休業中、給食がないことから空腹で万引きなどの非行に走る子どももある。本町にも相談窓口が開設されたが、状況はどうか。

町長 生活支援相談は昨年58件、今年は7月までに30件であり、うち食料支援の相談は昨年12件、今年は既に10件あり、今後増加するものと思われる。

質問 「フードバンク岩手」では、民間や企業から食べ物の寄付を募り各市町村相談窓口を通して配布している。本町でも、フードボックスを設置し、活動に参加しては。

町長 期日を決めて何カ所かに設置することとしたい。

剪定枝チップ機貸し出しは安全や騒音に問題

質問 ごみ減量対策の一つとして、剪定枝チップを貸し出す考えはないか。

町長 安全や騒音の問題、太い枝が処理できないことから貸し出しの予定はない。

質問 ごみ減量とともに土壌の改良や雑草抑制につながる。環境施設組合で大型機械を導入し、チップ材を販売することも考えてはどうか。

町長 環境施設組合の構成市町である盛岡・紫波・矢中の3市町で検討をしたい。

不動地区の町有地の活用は 国土利用計画の中で策定を進める



よねくら きよし
米倉 清志 議員
(公明党)

質問 不動地区の町有地に農業施設・農産物の販売所を建設し、さらに雨天時や冬期間にはスポーツ振興対策として、各種イベントを開催し誘客できる室内ドーム運動場の建設計画は。

町長 室内ドーム運動場については予定していない。また、公共施設総合管理計画においては、町有地の活用は住民や有識者の意見を取り入れ方針を決定する。

質問 都市計画と人口の増加を目的とした宅地開発は。
町長 農業的土地利用と都市的土地利用の調和を重視し第4次国土利用計画矢中町計画の中で策定を進める。

質問 農業人口の減少を防ぎ、市街化調整区域や農地法の規制緩和に努め、住宅を建設できる制度を整備すべきでは。

町長 都市計画法、農業振興地域の整備の規制があり許可が必要となる。また、規制緩和による空き地、空き家の有効利用として、関係機関と連携し検討する。

不動小学校の 環境整備は

側溝整備は
早急に対応

質問 不動小学校のプールサイド滑り止めシートの設置は。
教育委員長 簡易マットで対応をしていたが、衛生面に問題があり撤去した。滑り止めシートの設置を検討する。

質問 不動小学校の校庭の側溝が詰まり、衛生や排水上、整備が急がれるが計画は。

教育委員長 今後、排水機能を回復するため、早急に対応する。



不動小学校を視察研修中の教育民生常任委員会

宣誓書の改善は

投票所入場券の裏面利用を検討

質問 期日前投票で宣誓書に氏名や理由を記入し提出するが、改善の要望が多い。

選挙管理委員長 自宅等で、事前に宣誓書に記入することはスムーズに投票できるメリットもあることから、導入に向けて検討していきたい。

はがきの裏面を宣誓書として利用してはどうか。

安心できる介護支援を 新制度でも現行通り実施



かわむらこ
川村 よし子 議員
(日本共産党)



環境施設組合に集められている燃えるごみ

質問 来年4月から要支援1と2が制度から外され、特養入所は、要介護3以上と決まっているが、高齢者に影響はないか。

町長 要支援者の利用者については、現行の通り実施する予定。特養入所は原則要介護

3以上になるが、在宅介護が困難な認知症高齢者や老々介護者等、やむを得ない事情を配慮し特列入所できるようにするので影響はないと見込んでいる。

質問 国では要支援者を制度から外す方向だが、サービス利用者に影響があると思うがどうか。

町長 介護保険制度から除外するものではなく、原則的には新制度へ移行する予定で高齢者への影響はないと見込んでいる。

ごみ広域化は 経済的か

試算では
約27%削減

質問 県央ブロック(3市5町)新ごみ処理場建設費の矢中町負担はどの程度か。

町長 新ごみ処理場稼働は、平成41年度を目指している。矢中町の負担金額は86億円と試算され、既存6カ所の焼却

場を建て替える場合より約27%の負担軽減となる。広域化により経費が削減される。

質問 運搬費は負担金に含まれているのか。

町長 負担金額には、運搬費は積算されていない。

就学援助制度 の充実を

生活保護引き下げ 前の基準で支援

質問 子どもの貧困が問題となっているが、就学援助制度を生活保護基準の1・2から1・3にする経費はどの程度増額しないとできないか。

町長 小学校で43万円、中学校で46万円増額になる。町は生活保護費引き下げ前の基準での認定や、学用品費等の支給額見直しも行っている。

質問 中学校の就学援助を前年度の2月に支給できないか。

教育委員長 前年所得の決定等で前倒しの支給はできない。

適切な土地利用で定住化促進 各計画に盛り込み実現に努力



やまざき 山崎 議員
お 道夫 (一心会)

質問 本町の持続的発展には、定住人口を着実に増加させ、活性化を図る施策が求められているが、その一つとして、有効で適正な土地利用の推進が不可欠である。

新たな宅地確保等に向けた、土地利用計画の見直しを示されたい。

町長 今年度は第4次国土利用計画矢巾町計画と、都市計画マスタープランの見直しに着手している。

矢巾町まち・ひと・しごと創生総合戦略の重点施策である、適切な土地利用を実現するため、各計画に盛り込み盛岡広域都市計画に反映できるように、調整を進めていきたい。

質問 町内には町有地や民有地で遊休未利用地となっている土地や、国土利用計画、都市計画、市街地調整区域などで規制が厳しく利用が難しい土地がかなりある。

今後、有効利用を図るための活用構想について問う。

町長 町有地は中長期的視点で活用方法を検討し、必要に応じて、民間活力の導入も含めて検討していきたい。

公・民有地は関係機関と連携を図り、活用について可能な範囲で進めていきたい。

空き家対策に モデル事業活用 採択要件に合わず 見送る

質問 昨年行った調査で本町における空き家数は96件で、倒壊等の危険な建物は12件のことである。

今後増加する可能性もあることから、場合によっては行政代執行で空き家を撤去せざるを得ないことも想定される。

所有者不明など対処が難しい空き家への対策を進めるため、国が市町村を財政的に支援するモデル事業の活用を考へてはどうか。

町長 モデル事業は採択の要件等と合わなかったため、見送ったが、本年度は、専門業

者による詳細な調査を実施し、所有者の管理について意向調査を行うこととしている。

今後は、空き家等対策計画を策定し、適切な管理の促進、有効活用の推進を図っていき



町遊休地を調査する総務常任委員会

上下水道料値上げを問う

老朽化施設の更新必要



おがわ 小川 議員
ふみこ 文子 議員
(日本共産党)

質問 上下水道の値上げ見直し案が示されたが、水道6%、下水道15%は変わらず、受益者負担金のみ減額修正した理由は。

町長 近隣市町村と比較した場合、負担金が高額の設定となっていたことから、一般的に使用されている口径20ミリメートルを基本に見直した。

質問 矢巾東小北側に建設する新配水場は、医大附属病院対応とも考えることから、県補助を求めるべきでは。

町長 新配水場は東部浄水場施設の老朽化と水害時のリスク軽減等のためだが、県補助も今後要望していく。



浸水区域に位置する東部浄水場

質問 赤字が予想される平成34年まで値上げせずに、経営努力するべきではないか。

町長 老朽管等の更新は避けて通ることができない状況であり、リスクを回避し、安全安心な水道水の供給を継続するために料金改定は必要だ。

質問 旧矢巾中学校跡地に子ども達がサッカーをやれるような運動公園を望む声があるが、検討委員会の状況やアンケート調査の予定はあるか。

町長 検討委員会は2回開催され、広く町民の意見を取り入れるべくアンケート等の社会調査を実施する。

旧矢巾中学校跡地に子ども達の意見を広く取り入れる

ワークショップや検討委員会においても、色々な運動ができる場として活用する意見が多数を占めているとの認識を持っている。

ウイルス性

肝炎対策は

国・県の助成を
周知する

質問 ウイルス性肝炎の新薬が開発され、C型肝炎ウイルスは完全に消失させることができ、B型肝炎は完全ではないが、肝臓がんの発症率を下げる事ができる。町として情報周知と補助ができないか。

町長 肝炎ウイルス検査、早期治療の促進に努め、国や県の助成事業の周知を図る。

防災体制の推進状況は 多方面の協力を得て安全確保



ふじわら
藤原 うめあき
梅昭 議員
(一心会)

質問 8・9大水害の復旧状況は。

町長 県管理の河川・道路災害はすべて完了し、町道南昌山線を含む道路12カ所、河川7カ所、橋梁3カ所について27年度ですべて完了した。

質問 東日本大震災被災地への支援状況は。

町長 昨年度は、大槌町に1名を長期派遣、大船渡市に1名を短期派遣しており、今後必要請があり次第支援を行う。

質問 防災体制の推進状況は。

町長 消防団員の確保に向けて多方面より協力を頂いており、機能別消防団員は、50名の定員に対し42名が入団。

自主防災組織は、41自治会中38組織が結成された。

質問 通学路の安全確保は。

町長 通学路交通安全プログラムにより歩道整備を行うが、三堤線は基盤整備の際に拡幅を検討したい。

また、交通指導員・スクーリングガードや教員による街頭指導で安全確保をしている。

**健やかな生活を
守る取り組みは**

医療費助成を

中学生まで拡大検討

質問 子どもの医療費助成の更なる拡大への取り組みは。

町長 昨年対象者を拡大し、本年4月分からは小学校卒業までの児童にかかる外来分も、町単独事業として展開しており、現時点でも県基準以上である。

さらに中学校卒業までの拡大は、年1000万円程度の財源を要するが、拡充できるよう検討する。



災害に備えて行われた水防訓練(北上川河川敷)

質問 「塩彩プロジェクト」の進捗状況は。

町長 ナトリウムをカリウムに置き換えた、ナトカリ塩・味噌・醤油の基礎調味料及び活用食品の事業を展開する。

高血圧予防を中心とした、町民の健康づくりを推進する。

質問 「日本一健康な町やば」への取り組みは。

町長 平成26年度は特定健康診査受診率53・2%で県内3位、特定保健指導は44・1%で県内1位の実施率である。保健師等が家庭訪問による支援を行っている。

フードバンクで支援

政務活動報告

会派名：町民の会（高橋安子、廣田清実、水本淳一）
視察先：盛岡市 NPO 法人 フードバンク岩手



フードバンク岩手での食品仕分け作業

生活困窮者支援の相談所が平成27年4月に開設され、支援が必要な生活保護世帯以外の困窮者に対して、相談所を通して3カ月を目途に支援を行っている。相談は矢巾町、紫波町、岩手町、雫石町、葛巻町それぞれが対応窓口となり、県社会福祉協議会で集約している。

フードバンクとは

賞味期限内でまだ食べられるのに廃棄される食品を引き取り、福祉施設や支援を必要とする人へ無料で提供する活動・団体のことです。

フードバンクは徐々に浸透しつつあるが、相談に来るのは困窮者の一部にすぎないと思われる。今日食べるものもないための悲惨な事件や子供の貧困対策のためにも、公民一体となった対策を講じる必要がある。

調査中

新しいまちづくり調査研究特別委員会

土地利用施策 などを提言

昨年度は、矢巾町第7次総合計画の策定に向け、多くの提言を行いました。今年度は、以下にあげる調査・研究に取り組むこととします。

- ① 行政区再編
- ② ウェルネスタウン構想など、岩手医科大学附属病院開院に伴うまちづくり
- ③ 町有地・公・民、遊休未利用地の活用策
- ④ 国道4号沿い開発の要件緩和
- ⑤ 矢巾スマートIC周辺開発
- ⑥ 徳丹城史跡周辺のまちづくりと「道の駅」構想
- ⑦ 町周辺部における人口減少対策
- ⑧ 人口増に向けた子育て支援と、福祉・高齢化対策
- ⑨ 安全安心のまちづくり

最終報告

矢巾駅前地区・宇地区画整理事業調査特別委員会

笑顔あふれるまちを期待

平成23年度に始まった駅前区画整理事業は、本年4月に活動交流センター「やはばーく」が開館し、事業が完了を迎えようとしています。特別委員会は本議会で解散しますが、これからの関連事業の推進と、笑顔あふれる魅力あるまちづくりが展開されることを期待し、次のとおり提言します。

- やはばーくの図書やイベントの充実、健やかな子育て環境を整備し、さらなる利便性の向上に努めることを要望。
- 医大附属病院の移転による交流人口の増加が見込まれるため、新たなにぎわいの創出とともに安全確保が必要である。



にぎわうやはばーく1階カフェ

私も



ひとこと!

若い世代の町政参加を

阿部 勝永さん(矢巾1区)

町長をはじめ職員や、議員の顔ぶれが大きく変わっていました。また、議員が質問事項についてよく研究、研鑽されており、再質問、再々質問する姿勢は議場内の活力と議員の責任を感じました。他の自治体住人からは有望視されている矢巾町ですが、町においても少子化、人材育成、過疎化、減防災、土地有

効活用等々、避けて通れない問題があると思います。町や議会においては常時議論を交え、計画・研修し実施されていると思いますが、さらに中高生や新社会人の議会傍聴の機会や、接し合う場を設け、若い世代のアイデアやニーズを取り入れることが重要と考えます。町政に参加しやすい環境づくりに期待します。



議会を傍聴する筆者(右側)

追跡

あの質問はどうなった

過去に質問したことが現在どうなっているのか調査しました

自主防災組織への活動支援は

(平成27年6月定例会)

質問 町はすべての行政区での自主防災組織の設立を推進し、その活動を期待しているが、各自主防災組織への活動の支援や指導は、どのように行うのか。

回答 のほり旗やヘルメットなどの配備を行い、出前講座として、防災担当職員や消防団、矢巾分署の職員が講演や指導を行っていく。

現在は

38地区で自主防災組織が設立された。のほり旗やヘルメット、ベストなどは41行政区すべてに配布済みです。



各行政区に配備されたのほり旗(町消防演習)

研修の受け入れ

昨年度、

町村議会広報全国コンクールで奨励賞を受賞したことから、平成28年度は9月までで4議会の視察がありました。

研修では、編集方針「ありのままに 住民とともに 分かりやすく」の説明を中心に、編集方法や今後の課題などについて意見交換を行いました。

視察日	議会名
6月29日(水)	宮城県山元町
8月2日(火)	宮城県大衡村
8月3日(水)	愛知県大口町
9月28日(水)	山形県中山町



視察に訪れた宮城県山元町

議会からのお知らせ



盛大な応援の中での競技(筆者左端)

岩手県消防操法競技会 小型ポンプの部 優秀選手賞(指揮者)

たか はし なお き
矢巾町消防団第2分団第5部 **高橋直樹**さん(煙山)

達成感と感動は大事な財産

消防団の目的は、住民を火災や自然災害から守り、定期的な広報活動を通じて安心な暮らしを推進することです。団員全員が仕事を持ちながらの活動です。その消防団に操法競技大会があります。

競技内容は、ポンプ自動車や手軽に移動できる小型ポンプを使用するものがあり、目的は火災発生時に早く消火活動をし、住民の生命、財産を守るため、タイム、規律、精度等が試され、大会に向けてかなりの練習が必要です。

大会出場は、矢巾町消防団代表としての名誉であり、出場が決定すると部と団員には相当なプレッシャーがかかります。怪我のリスクも多くあります。最初は盛岡紫波地区支部大会。ここを突破しなければ県大会へは出場できません。これは、盛岡、紫波、矢巾の各代表チームで競われますが、ここを突破するのがかなり大

変です。しかし、終わってみると自動車ポンプの部と共に支部大会でダブル優勝することができました。これは、矢巾町消防団発足以来の快挙です。私たち選手にとっても無量の体験でした。

次の県大会では残念ながら良い成績は残せませんでした。優秀選手賞をいただくことができました。大観衆のなかでの競技は、学生時代のスポーツ競技でも経験することができなかった達成感と素晴らしい感動で大事な財産となりました。

振り返ると、町長からの熱い激励、分署の方々や先輩団員からの指導と地元の皆さんの盛大な応援もあり、普段経験できないことでした。皆さんも消防団に入団して、操法大会に参加してみませんか？

そして、念願の県大会初優勝、悲願の全国大会出場を!!

あ と が き

議会では、時に数百億円の前算を決定します。議会の責任は重大です。その責任を果たすために、各議員は活動しています。

町の将来のために何が議会で話し合われているのか、議会で足を運んで、ぜひその目で確かめてください。

広報広聴常任委員長

昆 秀一

発行・編集責任者

議長 廣田 光男

編集委員

委員長 昆 秀一

副委員長 齊藤 正範

委員 廣田 清実

高橋 安子

村松 信一

表紙によせて

「頑張れ、お前ならできる！」熱い声援が送られていた10月2日のスポーツチャンバラ競技会場。

ラジオ体操では、約2000人が参加した活気ある様子が全国に放送されました。

